

法医学実習（長谷川 巖）

Forensic Medicine Clinical Practice (Iwao Hasegawa)

キーワード

歯牙鑑定
司法解剖
警察署長権限解剖
個人識別
画像診断

関連する学位授与方針
DP(ディプロマポリシー)

①,②,③,④,⑤

関連する教育実施方針
CP(カリキュラムポリシー)

①,②,③,④,⑤,⑥

授業概要

実習を通じて、法医学実務を学ぶ。法医解剖に立ち会う。歯牙鑑定に立ち会う。

授業科目の学修目標

歯牙鑑定に立ち会い、実際の手技を修得する。
法医解剖に立ち会い、実際の手技を修得する。
CT撮影、死後画像診断に立ち会い、実際の診断方法を修得する。

授業計画

担当者:長谷川 巖
(各10コマで60コマ)
1) 司法解剖
2) 警察署長権限解剖
3) 承諾解剖
4) DNA鑑定
5) 画像診断
6) 物体検査

教科書および参考書

標準法医学 第7版(医学書院)

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

感染事故防止を心がけること。清潔操作を事前に修得しておくこと。

大学院生が達成すべき行動目標

- 1) 司法解剖を説明できる。
- 2) 警察署長権限解剖を説明できる。
- 3) 承諾解剖を説明できる。
- 4) DNA鑑定を説明できる。
- 5) 画像診断を説明できる。
- 6) 物体検査を説明できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	実技	その他
0%	0%	50%	0%	0%	50%	0%	0%

評価の要点

- ・レポートは、授業計画に記載された各1)～6)の項目について課題を提出する。50%
- ・口頭試問は、授業計画に記載された各1)～6)の項目について知識の理解度を判定する。50%

理想的な達成レベルの目安

理想的な達成レベルは80%以上とする。